

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和2年10月9日

①学校名:	千葉商科大学 大学(私立)	②所在地:	千葉県市川市国府台1丁目3番1号		
③課程名:	CUC市民活動サポートプログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2020年4月1日
⑥責任者:	地域連携推進センター長 朽木 量	⑦定員:	10名	⑧期間:	8ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	コミュニティビジネスや地域密着型ビジネス等を行う企業や団体の企画事務員に、活動場所のいかんを問わず幅広く通用する経営・マーケティングの知識とこれらを活用するスキルを提供する。また、市民活動やNPO等の活動支援を行っている市民活動センターなどの中間支援組織の企画事務員や総合事務員、同法人団体の管理職員等にも同様の知識と運用スキルを教授する。特に、経営・マーケティング・組織マネジメントの知識とこれらを活用する経営スキル、地理情報システム(GIS)を駆使した地域密着型ビジネスや非営利組織の課題分析力、クラウドソーシング活用能力や高度なファシリテーション能力などを修得させ、「総合演習」でこれらのスキルを総合してコミュニティビジネスや地域密着型ビジネスを行う企業・団体を運営するために必要な経営に関する知識や技術を修得させる。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生 (地域活性化)	⑪履修資格:	①高等学校又は中等教育学校を卒業した者(大卒者・大学中退者も含む) ②高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者 ③外国において、学校教育における12年の課程を修了した者 ※中学校卒業の場合等は、個別審査を行う		
⑫対象とする職業の種類:	コミュニティビジネスや地域密着型ビジネス等を行う企業や団体の企画事務員、活動場所のいかんを問わず幅広く活躍する市民活動団体や地域活動団体などの企画事務員、市民活動センターなどの中間支援組織の企画事務員や総合事務員及び管理職員				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 経営に関する知識(経営手法)、地理情報システムを駆使した地域の現状・ニーズに関する知識、活動効率化のためのファシリテーション技術、クラウドソーシング活用技術、管理会計知識		(得られる能力) 組織マネジメント能力、地域課題解決のための分析力、対話を通じて新たな創発を生み出す能力		
⑭教育課程:	「組織マネジメントと管理会計」や「経営学とマーケティング」などで、コミュニティビジネスや地域密着型ビジネス等の効率化や発展に必要な経営・マーケティング・組織マネジメントの知識と、これらを活用する経営スキルを修得させる。地理情報システム(GIS)を駆使した「地域分析実習」、「非営利組織論・NPO法」で地域密着型ビジネスや非営利組織の現状と課題・ニーズを正確に把握し、「ファシリテーション実習」や「クラウドソーシング活用演習」などで自らの活動をより効率化させるための方法を教授する。「総合演習」でこれらのスキルを総合してコミュニティビジネスや地域密着型ビジネスを行う企業・団体を運営するために必要な運営スキルを身に付けさせる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	必修科目7科目、計35回(合計61時間25分)を受講し、各科目について一定以上の成績評価を得る。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	「履修証明書」及び「千葉商科大学認定 市民活動エンハンサー」の付与				
⑰総授業時数:	61.25 時間	⑱要件該当授業時数:	35 該当要件	実務家、実地、双方向	⑲要件該当授業時数/総授業時数: 57%
⑳成績評価の方法:	授業への貢献度や講師が指示する課題等を総合的に判断し、成績評価を行う。				
㉑自己点検・評価の方法:	プログラム終了後に実施する総合評価アンケートを基に、協力企業が参画する「社会貢献分科会」において当教育課程成果の検証・点検・1次評価を行い、本学の履修証明プログラムの企画・運営を含む大学の地域連携に関する事項の意思決定機関である「地域連携推進センター会議」において、プログラム成果の検証・点検・2次評価(学校教育法第109条第1項に定める評価)をする。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	プログラム終了後に実施する総合評価アンケートを基に、プログラム修了者の各自の活動におけるプログラムを通じて修得した知識・スキルの反映状況を把握し、「地域連携推進センター会議」の下に設置する「社会貢献分科会」において連携企業と共に点検・1次評価をし、その効果についての検証作業を行う。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 「地域連携推進センター会議」の下に設置する「社会貢献分科会」において、協力企業と当教育課程の目標達成に必要なカリキュラム編成について意見交換を行い、カリキュラム編成に資する意見を取り入れる。 (自己点検・評価) プログラム終了後に実施する総合評価アンケートを基に、協力企業が参画する「社会貢献分科会」において当教育課程成果の検証・点検・1次評価を行う。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	休日(土曜日)の開講とすることで、社会人が受講しやすい環境を整えている。				
㉕ホームページ:	(URL) https://www.cuc.ac.jp/social_contribution/lifelong/risyusyomei/index.html				

事務担当者名:	松下	所属部署:	社会連携推進課
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	047-320-8667 cucr@cuc.ac.jp	

- *パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- *様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。